

令和2年度 理窓会千葉支部教職員部会 書面総会資料

★はじめにお読みください

・理窓会千葉支部ホームページに回答フォームのリンクを掲載しています。

こちらから御回答ください。

 理窓会 千葉支部

検索 

・回答は各校1名、代表者の方で結構です。(本庁, 総セの方は各自で御回答ください)

・返信・回答の期限は8月末日とさせていただきます。

・支部の議案については、代表者ではなく会員各自で回答をお願いいたします。

・期限までに回答がなかった場合は、承認扱いとさせていただきます。(支部も同様です)

・書面総会の審議結果については、後日千葉支部ホームページに掲載いたします。

本資料に関するお問合せ先

教職員部会事務局長 飯島 章 akrijm@gmail.com / 090-2720-2505

<議事一覧>

- | | | |
|-------------------|--------|---------------|
| ① 令和元年度事業報告 | 資料2ページ | |
| ② 令和元年度会計報告及び監査報告 | 資料3ページ | |
| ③ 令和2年度事業計画(案) | 資料4ページ | |
| ④ 令和2年度予算(案) | 資料5ページ | |
| ⑤ 新役員の推薦について | 資料6ページ | ※第4条(1)(2)(3) |
| ⑥ 新地区理事の推薦について | 資料6ページ | 第4条(3) |
| ⑦ 新事務局員の推薦について | 資料6ページ | 第4条(4) |
| ⑧ 新顧問の推薦について | 資料6ページ | 第7条 |

令和元年度 事業報告

事業	期日・会場	事業内容	担当者
1 事務局 打合せ	令和元年5月11日(土) 会場：ポートプラザちば	(1) 役員会・総会の準備 (2) 研修会の日程 (3) 会報の発行等について	飯島
2 役員会	令和元年6月9日(日) 会場：ポートプラザちば	(1) 令和元年度の議題及び実施要項 について (2) 懇親会	三浦 牧田
3 研修会	令和元年7月27日(土) 会場：ポートプラザちば	(1) 研修会 (2) 懇親会	玉井 花房
4 総会並びに 記念講演会 ・懇親会	令和元年8月24日(土) 会場：ポートプラザちば	(1) 議事 ① 平成30年度事業報告・決算報告 ② 令和元年度事業計画案・予算案 ③ 新役員の承認について ④ 新地区理事の承認について ⑤ 新顧問の承認について (2) 諸連絡 ① 会員名簿について ② 研修について ③ その他 (3) 記念講演会 講師 桂 歌助 師匠 (落語家) 演題：「人の心を動かす話し方」 (4) 懇親会	三浦 牧田 (風戸) (川邊) (飯島) (宮部)
5 会報発行 (第50号)	令和元年12月1日(日)	(1) 部数 700部 (2) 内容 従来通り	石井 明間
6 事務局 打合せ	令和2年2月15日(土) 会場：ポートプラザちば	(1) 役員会・総会の反省 (2) 令和2年度の事務局打合せの日程 (3) 令和2年度役員会・総会の日程	飯島

理窓会千葉支部教職員部会 令和元年度会計決算書

1 特別会計（終身会費）の部

(a) 収入の部

平成31年度末	備考
2,428,108	ゆうちょ銀行定額預金（利子78,108円含む）

合計 2,428,108 円

(b) 支出の部

項目	本年度予算	決算額	増減(△印減)	説明
総会補助	30,000	30,204	204	若手参加者への補助

(c) 差引残金

(a)収入の部2,428,108(円)－(b)支出の部30,204(円)＝(c)差引残金2,397,904(円)

差引残金は次年度に繰り越し

2 一般会計の部

(a) 収入の部

項目	予算額	決算額	増減(△印減)	説明
繰越金	40,118	40,118	0	
年会費	30,000	0	△ 30,000	
終身会費組み入れ	30,000	30,204	204	
本部補助	55,000	55,000	0	教職員部会活動支援 3.5万 外部講師補助金 2万
雑収入	50,000	57,810	7,810	還付金(3,900円), 総会・役員会残金等
合計	205,118	183,132	△ 21,986	

(b) 支出の部

項目	予算額	決算額	増減(△印減)	説明
事務局費	12,000	11,245	△ 755	事務局打合せ補助
通信費	95,000	82,978	△ 12,022	会報・会合郵送代
印刷費	35,000	33,049	△ 1,951	会報印刷代
理窓教育会費	30,000	0	△ 30,000	残金不足のため未払い
振替手数料	1,000	770	△ 230	郵便振替手数料
総会講師謝礼	30,000	30,000	0	
終身会費戻し入れ	0	0	0	
予備費	2,118	25,000	22,882	総会補助
合計	205,118	183,042	△ 22,076	

(c) 差引残金

(a)収入の部183,132(円)－(b)支出の部183,042(円)＝(c)差引残金90(円)

差引残金は次年度に繰り越し

上記の決算について、会計帳簿・証拠書類等を監査した結果、正確に処理され適正であることを認めます。

令和2年6月10日

会計監査

堀 眞樹  印

会計監査

風戸 正  印

令和2年度 事業計画(案)

事業	期 日 ・ 会 場	事 業 内 容	担当者
1 事務局 打合せ	中止[緊急事態宣言のため] 資料配付のみに代替	(1) 役員会・総会の準備 (2) 研修会の日程 (3) 会報の発行等について	飯島
2 役員会	中止[緊急事態宣言のため] 書面による役員会	(1) 令和2年度の議題及び実施要項 について	三浦 牧田
3 研修会	中止[新型コロナウイルス のため] 資料の送付	(1)研修会資料の送付	玉井 花房
4 総会並びに 記念講演会 ・懇親会	中止[新型コロナウイルス のため] 書面による総会	(1)書面による総会 議事 ① 令和元年度事業報告・決算報告 ② 令和2年度事業計画案・予算案 ③ 新役員の承認について ④ 新地区理事の承認について ⑤ 新事務局員の承認について ⑥ 新顧問の承認について	三浦 牧田
5 会報発行 (第51号)	令和2年12月1日(火)	(1) 印刷とWeb公開を併用 (2) 内容 総会中止のためページ数減	石井 明間
6 事務局 打合せ	令和3年 未定 会場：ポートプラザちば	(1) 役員会・総会の反省 (2) 令和3年度の事務局打合せの日程 (3) 令和3年度役員会・総会の日程	飯島

理窓会千葉支部教職員部会 令和2年度予算(案)

1 特別会計(終身会費)の部

(a) 収入の部

令和元年度末	備考
2,397,904	ゆうちょ銀行定期預金

(b) 支出の部

項目	本年度予算	前年度予算	増減(△印減)	説明
活動補助	30,000	30,000	0	

2 一般会計の部

(a) 収入の部

項目	本年度予算	前年度予算	増減(△印減)	説明
繰越金	90	40,118	-40,028	
年会費	3,000	30,000	-27,000	実績 H30年度1名, R1年度0名
終身会費組み入れ	30,000	30,000	0	教職員部会の活動補助として
本部補助	50,000	55,000	-5,000	教職員部会活動支援5万(1.5万増) 外部講師補助金 中止の場合ゼロ
雑収入	0	50,000	-50,000	会合中止の場合
合計	83,090	205,118	-122,028	

(b) 支出の部

項目	本年度予算	前年度予算	増減(△印減)	説明
事務局費	0	12,000	-12,000	事務局打合せはメールで実施
通信費	52,000	95,000	-43,000	書面役員会 12,000円 総会中止通知 20,000円 会報送付 36,750円(昨年度実績) - 20,000円 (現役世代はPDF化しWeb公開に変)
印刷費	4,000	35,000	-31,000	会報印刷 33,049円(昨年度実績) 印刷機使用, 紙代のみ 4,000円 昨年1000円×30人分を納入
理窓教育会費	15,000	30,000	-15,000	会費1500円に値上げ, 10人分納入の場合
振替手数料	1,000	1,000	0	郵便振替手数料
総会講師謝礼	0	30,000	-30,000	開催なし
終身会費戻し入れ	0	0	0	
予備費	11,090	2,118	8,972	
合計	83,090	205,118	-122,028	

令和2年度 新役員の推薦について(案)

部会長	坂野 直人	千葉県立船橋法典高等学校	校長
副部会長	根本 巖	千葉県立銚子商業高等学校	校長
副部会長	益子 孝嗣	千葉県立実籾高等学校	校長
副部会長	堀 眞樹	千葉県立流山南高等学校	校長
副部会長	風戸 正	松戸市立松戸高等学校	校長
副部会長	梶原 幸之介	柏市立第六小学校	校長

新地区理事の選出について(案)

印 旛		千葉県立 高等学校	教 諭
	候補者を検討中です		
山 武		千葉県立 高等学校	教 諭

新事務局員の選出について(案)

会合係	加藤 純一	千葉県立柏高等学校	教 諭

新顧問の推薦について(案)

顧 問	太田 恭正	千葉県立柏高等学校	校 長
顧 問	高田 浩	前犢橋高等学校	校 長
顧 問	込宮 一之	前君津高等学校	校 長

記念講演会講師(過去の記録)

年度	月日	会場	講師 演題	人数
10	8.23(日)	青雲閣	竹原 茂(麗澤大学教授) 「アジアの中の日本」	6 40
11	8.22(日)	千葉京成ホテル	慶伊 富長(理窓会会長) 「日本の大学、世界の大学」	8 47
12	8.20(日)	ポートプラザちば	川尻 信夫(東海大学名誉教授) 「発見と証明」	5 47
13	8.19(日)	ポートプラザちば	小石 まさよ(千葉県商工会議所連合会事務局長) 「高校教育に期待すること」	6 45
14	8.18(日)	ポートプラザちば	今西 乃子(フリーライターNGO「アジア教育支援の会」理事) 「ストリートチルドレンから考える真の支援とは」	8 46
15	8.24(日)	ポートプラザちば	木岡 一明(国立教育政策研究所) 「これからの学校と組織マネジメント」 共・創・考・開を指向する学校経営への展望	8 47
16	8.21(日)	ポートプラザちば	桂 歌助(落語家) 「笑う楽しさ、笑わせる楽しさ」	8 73
17	8.20(土)	ポートプラザちば	小林 宏(東京理科大学工学部機械工学科助教授) 「人間生活を支援する 実用的なロボットシステムの開発」	58
18	8.19(土)	ポートプラザちば	殿前 康雄(元八王子東高校校長・大成高等学校校長) 「学校から日本が見える, 学校から日本を変える」	55
19	8.19(日)	ポートプラザちば	八巻 秀 (秋田大学教育文化学部附属教育実践総合センター教授) 「今どきの少年・青年のこころ ～臨床心理士の視点から～」	65
20	8.9(土)	ポートプラザちば	富岡 康夫(日本理化学協会会長・都立富士森高等学校校長) 「私と理科教育～私の歩んできた道～」	61
21	8.23(日)	ポートプラザちば	戸川 美郎(東京理科大学理工学部情報科学科教授) 『数学オリンピックと、いわゆる「才能」』	59
22	8.22(日)	ポートプラザちば	瀧澤 美奈子(科学ジャーナリスト) 「環境と共に、私たちはどこへ向かうのか」	60
23	8.21(日)	ポートプラザちば	岩崎 元郎 先生(無名山塾主宰) 「山登りでも始めてみませんか」	69
24	8.26(日)	ポートプラザちば	駒場 慎一 先生(東京理科大学理学部応用化学科准教授) 『新型蓄電池の研究 ～「リチウム」から「ナトリウム」へ』	68
25	8.25(日)	ポートプラザちば	澤田 利夫 先生(東京理科大学客員教授) 「学力の推移～国際調査からみたわが国の数学力～」	68
26	8.24(日)	ポートプラザちば	牧野 公子 先生(東京理科大学教授・薬学部学部長) 「薬の効き方 効かせ方」	70
27	8.23(日)	ポートプラザちば	香川 武 先生(学校法人香川学園メロス言語学院学院 長付事務局長) 「日本の私費留学生受入れの現状と取組」	63
28	8.21(日)	ポートプラザちば	池北 雅彦 先生(東京理科大学教授) 「患部をピンポイント攻撃する未来の薬」	62

年度	月日	会場	講師 演題	人数
29	8.20 (日)	ポートプラザちば	姜 尚中 先生 (東京理科大学特命教授) 「これからの働き方とリーダーのあり方」	7 4
30	8.18 (土)	ポートプラザちば	川村 康文 先生 (東京理科大学教授) 「地球環境問題の解決を考えるための科学実験」	5 5
R1	8.24 (土)	ポートプラザちば	桂 歌助 (落語家) 「人の心を動かす話し方」	5 5

歴代事務局員

年度	会長	事務局 顧問	事務局 局長	会合係	会報係	研修係	会計係	名簿係
4		林	小倉	森本	北島	久保田	小谷野	和泉澤
5		林	小倉	森本	北島、根本	久保田	小谷野	和泉澤
6		小倉	佐藤	森本	杉浦	久保田	小谷野	和泉澤
7	富澤	小倉	佐藤	宮崎	杉浦	原	小谷野	森本、鈴木
8	増田	原	森本	宮崎	杉浦	杉田	大嶋	鈴木
11	秋山		森本	鈴木	杉浦、中村	杉田	大嶋	太田
12	脇田	森本	鈴木	太田	中村 宮部、小林	杉田	大嶋、伊藤	藤崎
13	脇田	森本	鈴木	太田	中村 宮部、小林	杉田	大嶋、伊藤	藤崎
14	小倉	森本	鈴木	太田	宮部、小林	木村、大嶋	伊藤	藤崎
15	山崎	鈴木	太田	藤崎	宮部	小林	伊藤	坂野
16	大竹	鈴木	太田	藤崎	宮部、伊藤朋	永野、小林	伊藤	坂野
17	大竹	太田	伊藤	藤崎	宮部	永野	伊藤朋	坂野
18	北島	太田	伊藤	藤崎	宮部	永野	安留	坂野
19	乙部	太田	伊藤	藤崎、飯島	宮部、根本	永野、風戸	川邊、(安留)	坂野、(安留)
20	杉浦	太田	伊藤	藤崎、飯島	宮部、根本	永野、風戸	川邊、(安留)	坂野、(安留)
21	眞田	伊藤	藤崎	宮部、風戸	根本、飯島	永野	川邊、(安留)	坂野、(安留)
22	宮崎	伊藤	藤崎	宮部、風戸	根本、飯島	永野	川邊、(安留)	坂野、(安留)
23	宮崎	伊藤、藤崎	川邊	宮部	根本、飯島	永野 堀、玉井	坂野、(安留)	菅原、風戸
24	堀(誠)	伊藤、藤崎	川邊	宮部	根本、飯島	堀(眞)、玉井	坂野、(安留)	菅原 風戸、加藤
25	田村	藤崎	川邊	宮部	根本、飯島	堀、玉井	坂野 菅原、(安留)	加藤 風戸、(菅原)
26	森本	藤崎	川邊	宮部 (飯島)	飯島、石井	堀、玉井	菅原、(安留)	加藤、風戸 西山
27	鈴木		川邊	宮部、三浦 (飯島)	飯島、石井	玉井、伊藤	菅原、(安留)	加藤、風戸 西山
28	古川	川邊	飯島	宮部、三浦	加藤、石井	玉井、伊藤 花房	菅原、(安留)	西山、古川理
29	大嶋		飯島	宮部、三浦	石井、明間	玉井、伊藤 花房	加藤、善岡 (安留)	古川(理)、 有馬
30	吉田		飯島	三浦、牧田	石井、明間	玉井、伊藤 花房	善岡、石田 (安留)	古川(理)、 有馬
R1	太田		飯島	三浦、牧田	石井、明間	玉井、花房	善岡、石田 (安留)	古川(理)、 有馬
2	坂野		飯島	三浦、牧田、 加藤	石井、明間	玉井、花房	石田	有馬

東京理科大学同窓会（理窓会）千葉支部教職員部会規約

第1条 この会は理窓会千葉支部教職員部会と称し、東京理科大学（東京物理学校）の同窓生並びにこの会に賛同する本大学関係者をもって組織する。

第2条 この会は、同窓相互の親睦と福祉を図り、東京理科大学の発展に寄与することを目的とする。

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次のことを行う。

- (1) 総会 毎年1回原則として8月に行なう。また、必要に応じ臨時総会を開くことができる。
- (2) 役員会 必要に応じて会長がこれを招集し、この会の企画・運営などを審議する。
- (3) 研修会 原則として毎年1回開催する。
- (4) 会報の発行
- (5) 会員名簿の作成
- (6) その他、必要な事業

第4条 この会の円滑な運営を図るため、次の役員を置く。

- (1) 会長（1名）、副会長（若干名）、理事および地区理事（若干名）、会計監査（2名）
- (2) 会長、副会長及び会計監査は、役員会の推薦により、総会において選出する。
- (3) 理事及び地区理事は会長の推薦により、役員会において選出し、総会の承認を得る。
- (4) 事務局の事務局長、会計及び事務局若干名は、会長の推薦により、役員会において選出し、総会の承認を得る。

第5条 会長は会務を総理し、この会を代表する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。地区理事はその地区を代表し、会務を処理する。

第6条 役員の任期は2カ年とし、再任は妨げない。ただし、補欠により選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第7条 この会に顧問を置くことができる。顧問は、会長の推薦により総会の承認を得る。

第8条 この会の経費は、次のものをもってこれに当てる。

- (1) 会費（会員1名につき年額1,000円とする。）
- (2) 終身会費（終身会員1名につき20,000円）
- (3) 寄付金及び雑収入

第9条 この会の経費に関しては毎年1回会計監査を実施し、総会で報告する。

第10条 この会の事務局は、会計宅に置く。

第11条 本規約の改正にあたっては、役員会で審議し、総会で承認を得るものとする。

備考 第4条でいう地区とは、次の12とする。

千葉、船橋、市川、松戸、東葛、印旛、東総、山武、長生・夷隅、安房、君津、市原

附則 1. この規約は、平成20年8月9日より施行する。